

# 8月は「差別を許さない市民運動推進強調月間」です

## 部落差別のない社会の実現に向けて

平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されて1年半が経過しました。

この法律は、現在もなお部落差別が存在していることにかんがみ、部落差別の解消に関して国および地方公共団体の責務を明らかにした上で、部落差別のない社会を実現することを目的としています。特に情報化の進展に伴い、インターネットを悪用した新たな差別事象も発生しています。

本市では法律の趣旨を踏まえ、人権啓発、相談事業などを積極的に実施しています。

## 人権・同和問題地区別研修会の開催

毎年、全市民を対象に、差別の根本的解決に向けた研修会を行っています。この研修会は、同和問題についての理解、さらにはさまざまな人権問題の理解を深めていく場として実施するものです。同時に、人権を尊重し啓発を実践する人を育てることを目的としています。

開催に当たっては、市内各地区の人権教育推進協議会、公民館、自治会など、さまざまな団体の協力をいただいています。多くの皆さんに研修の主旨を理解してもらい、積極的に人権・同和問題地区別研修会へご参加くださいますようお願いいたします。なお、各地域の研修期日は、各地域公民館および自治会などに問い合わせください。

## 人権を守るために

いじめや虐待・差別・プライバシーの侵害など日常生活でお困りの方のために、人権擁護委員による相談窓口を開設しています。一人で悩まず、気軽にご相談ください。(相談日時・会場は問い合わせください)

この他、人権リーフレットの配布、市ホームページの活用など、全ての人の人権が守られるよう、あらゆる機会を通じて啓発活動を行っていきます。

- みんなの人権110番 ☎0570-003-110
  - 子どもの人権110番 ☎0120-007-110
  - 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
- ※いずれも月～金曜日午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)
- インターネット人権相談窓口  
「インターネット人権相談」で検索してください。

▶問い合わせ 人権推進課人権同和対策担当 (内線221)



平成29年度 行田市人権ポスター最優秀作品



## 旧忍町信用組合店舗で「昔の行田の写真展」を開催します

水城公園東側園地に移築・改修・復原された市指定文化財「旧忍町信用組合店舗」で、明治・大正・昭和期の行田の風景を写した懐かしい写真を多数展示します。ぜひ、ご来場ください。

- ▶日時 8月11日(土)・12日(日)午前10時～午後4時
- ▶場所 旧忍町信用組合店舗(水城公園東側園地内)
- ▶入場料 無料
- ▶問い合わせ 文化財保護課 ☎553-3581



## 人権啓発フェスティバル「ヒューマンフェスタ2018 in 久喜」

- ▶日時 8月25日(土)午前10時～午後3時30分
- ▶場所 久喜総合文化会館(久喜市下早見140)
- ▶内容 ①生稲晃子さん(女優・タレント)による人権講演会 ②花咲徳栄高等学校吹奏楽部による演奏 ③子ども人権メッセージ他
- ▶入場料 無料
- ▶その他 先着順、事前申し込み不要
- ▶問い合わせ 県人権推進課 ☎048-830-2255



生稲晃子さん

# 「今」からみんなで考えよう! 公共施設の将来

## ～【第2回】公共施設の再編に向けた今後の取り組み～

市では、将来にわたって安心・安全な施設においてサービスの提供を継続していくため、「公共施設の再編」に取り組んでいます。今月号では、「公共施設の再編」の考え方や実施手法を紹介します。

ぎょうだ足袋中学校  
担任 ハス子先生



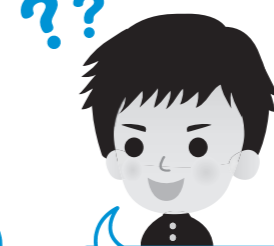
単に施設を減らすだけでなく、利用者のニーズの変化に合わせて、機能をまとめたり、他の用途に転用するなど、施設の在り方を見直すことですね。

行田市役所  
やりくり室長



本市の将来人口などを考えながら、必要な機能を残しつつ、施設の規模や配置の適正化を図ること、それが「公共施設の再編」です。

ぎょうだ足袋中学校  
1年 こはぜ君



先月号の授業で、今ある公共施設の全てを建て替えることが難しいことは分かりました。でも、これから進める公共施設の再編って何をやるんですか。

## 公共施設の再編って何?

先月号の授業で、公共施設を取り巻く現状と課題、将来世代の負担軽減に向けた取り組み目標を学んだこはぜ君。公共施設の将来に興味を持ち、やりくり室長にいろいろと質問しています。皆さんも一緒に授業の様子をのぞいてみましょう。



そういえば去年まで通っていた小学校の校舎の中に学童保育室がありました!これは「複合化」ですね。

そうですね。それだけでなく、児童センターの中に学童保育室を設けたりと、行田市でも既に複合化を取り入れていますね。

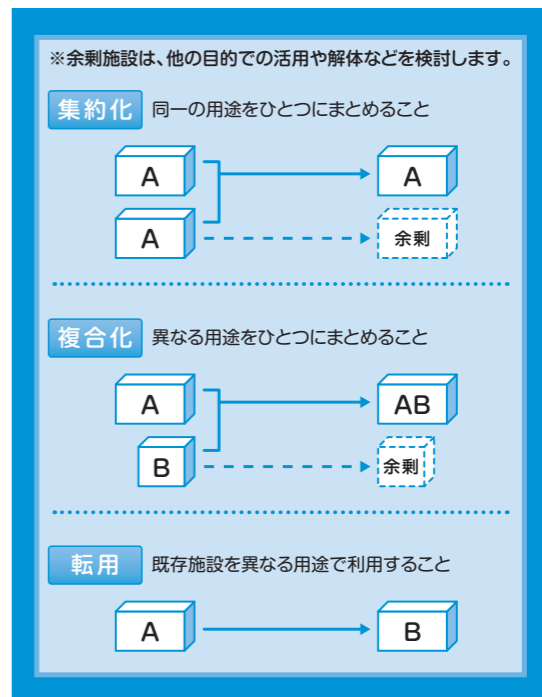


▼問い合わせ  
改革推進室ファシリティア  
ネジメント担当(内線327)



では、来月号で施設を出来るだけ長い期間使用できるように「長寿命化」についてお話します。

お二人が気がついたように、行田市でも複合化などの取り組みは少しずつ進めています。この取り組みをさらに進めていくことで、将来世代の負担軽減につながるのです。



## 具体的な再編手法

これまではひとつの施設にひとつの機能を持たせていましたが、今後は複合化などによって、保有量を減らしつつ必要な機能を確認していく必要があります。

